

【地区活動報告】

ロータリー財団補助金管理セミナー

地区ロータリー財団委員長 中野 均

日時 3月5日(日)13時～16時

場所 JAビル2階和ABC

内容 ロータリー財団補助金セミナー



補助金セミナーは、各クラブの奉仕活動に使用していただくため毎年開催しているセミナーです。このセミナー受講は、地区補助金申請するための条件としています。

今回は、森本ガバナー・谷ガバナーエレクトのご臨席を含め、36クラブより44名のロータリアン、ローターアクトクラブより3名の代表者が対面で、そして3名のロータリー財団学友及び元財団学友会会長の4名がZOOMで参加してくれました。

出席クラブの大半は、過去に補助金申請の経験があるクラブですが、2022-23年度地区補助金申請ハンドブックを使用し改めて申請の流れを説明しました。なかでも補助金申請額の計算方法について、月次寄付レポートを参照しながら説明させていただきました。

2013年より現在の補助金制度に変わり、当地区で財団学友が5名、現在3名が留学しています。学友5名の内2名と2008-09年度ウクライナ リビウ大学に留学し、現在もリビウ市在住の学友1名がZOOMで参加してくれました。2名の学友は、留学中の活動や現在の仕事の話をしてくれ、リビウ市在住の学友からは、西側地域のため大きな被害が比較的少なく、侵攻後1年が経った今、警報(空襲)が鳴ると、防空壕へ避難することが多くある旨、物価も高くなっており生活が厳しく、ニュースでは伝わってこない話をしてくれました。

出席者は、ウクライナ災害支援も必要ではないかと。思われたことでしょう。

今後も機会があれば財団委員会として、財団学友の報告をしていただくよう計画して参りたく思います。



【地区活動報告】

My Rotary活用実務研修会



地区IT・ガバナー月信委員長 中谷 新治

地区IT・ガバナー月信委員会は、3月6日(月)、和歌山市でMy Rotary活用実務研修会を開きました。

当日は、クラブの事務職員及びクラブ幹事等の9クラブ、10名とZoomで17クラブ、23名の合計26クラブ、33名が参加しました。地区からは、森本ガバナー、中谷委員長、村田地区幹事、寺下地区幹事・副委員長(講師)が出席しました。

研修会では、My ROTARYの普及促進(登録率向上)と活用を目的にWi-Fi対応のパソコンを操作し、実際に全般の実務。会員情報の更新やクラブセントラルでの目標設定・実績入力、奉仕プロジェクト登録のほか、各項目の内容と活用について勉強しました。

現在、My ROTARYの登録数は、全体で716名 現在 44.67%であり、目標の65%に今年度末までに促進できるよう参加者に呼びかけました。

My ROTARYの実務研修は、コロナの影響のあり、5年ぶりの開催。事前に開催についてのアンケートでは開催希望が多く、事務局員が入れ替わっていることもあり、一定の成果があったと思います。特に次年度のクラブ幹事の参加も多く、今後は、定期的な開催と参加クラブを増やすことで、更なる普及、活用促進を目指します。



【地区活動報告】



ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)

地区RLI委員長 細川 幸三



今年度もRLI委員会は昨年度に続きRLIパートⅠ、Ⅱ、Ⅲを開催いたします。
ご承知のように、新型コロナウイルス感染症は収束しつつありますが、皆様の健康安全や移動、会場準備等の問題もあり、リモート(ZOOM)での開催を選択させて頂きました。

3月12日のパートⅠには9名の方が参加し、6セッション(各50分)を修了させて頂きました。さすがロータリアンの皆様、活発なディスカッションがなされ、沢山のコミュニケーションがとれ、DLである私達も多くの気づきを頂き、多くの事を学ばさせて頂きました。RLIは何度同じセッションを行っても参加者が変われば意見も変わり、正に百人百様でロータリーにおける指導原則や財団、米山記念奨学事業等々、ロータリーをこれほど語り合える機会はRLIにおいて他にはないと思います。RLI研修の良いところは、話を聞くだけの受講型研修ではなく、皆様に参加して頂く参加型研修です。各セッションのテーマを皆様にディスカッションして頂き、他の方のお話を聞く事により、気づきを得てロータリーをより理解する一番の近道ではないかと思えます。

でも少し残念な事も。当地区ではRLI日本支部が出来た直後からRLIに取り組んでいるにも関わらず、RLIの認知度が低く参加者が少なくなっています。様々な要因が考えられますが、RLI委員会では認知度アップが喫緊の課題であると考え、今後に向け取り組んでいきたいと考えています。また、本RLIを開催するにあたり、多くの準備が必要となり、特に研修会での進行役となるディスカッションリーダー(DL)の役割が大変重要でDLになって頂ける方には大変な負担をおかけすることになっていきます。本委員会では昨年7月より7回のDL研修(今年度残り2回 計9回)を重ねRLIに備えてきました。殆どのDLの皆様には2年間の長きにわたり大変貴重な時間を使って担当して頂いています。今年度の残り2回のパートⅡ、Ⅲに少しでも多くのロータリアンに参加して頂けることを御願い申し上げます。



RLI(ロータリーリーダーシップ研究会) とは、1992年アメリカニュージャージー州(国際ロータリー第7510地区)にて元RI理事のデビット・リネット氏の発案で始められた研修組織です。日本では2008年6月にRLI日本支部が結成されロータリーにおけるリーダー研修組織として発展し現在に至っています。

【地区活動報告】

2023-24年度のための会長エレクト研修セミナー PETS



次年度地区研修リーダー 藤井 秀香



2023-24年度ゴードン.R. マッキナリーRI会長は、『世界に希望を生み出そう』と年度のテーマを発表なさいました。私達は世界を平和をもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒し、破壊的な紛争から、世界を立ち直れるよう希望を生み出さなくてはなりません。



谷ガバナーエレクトはスローガンを『思いやりあふれる！明るく！元気なロータリー！』と発表されました。明るく、優しくフレンドリーなガバナーが誕生します。

会長エレクト研修セミナーPETSは、国際ロータリーの新しいテーマを元に、ガバナーエレクトと委員長が、会長としての心構えや、任務などを、次年度のクラブ会長に伝えました。

クラブの成功のカギを握るのが会長。次年度の計画を立て、会員の積極的な参加を促し、リーダーシップチームとともにクラブの円滑な運営を行う初めてロータリークラブの会長となる方も、会長経験者も、会長としての1年間はクラブでリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献できる貴重な機会となりました。

クラブリーダーシッププランCLP、クラブの未来を形成してゆく為に必要不可欠であるクラブ戦略計画を是非たてて下さい。これは、効果的なクラブとなるための活動計画の指標であり、以下の4つの要素としてまとめられています。

- ①会員の基盤を維持増強する
- ②成果のある奉仕プロジェクトを実施する
- ③ロータリー財団を支援する
- ④クラブ指導者を育成する

RIの「効果的なクラブ」の定義は、ロータリーの綱領を満たしているかということであり、その判定ツールは、①会員満足度テスト ②クラブ活力度テスト

今後のロータリーのキーワードは、D(多様性)E(公平性)I(開放性)であるということです。これらは今後もよく登場するだけに、皆さんには確認しておきたいと思います同じビジョンを共有し、同じ奉仕の心で

結ばれている同じフロアに立ち、自分のできることで、クラブに貢献する。他者を思いやる心、自分と違うものを受け入れる柔軟な心を持つことであるということです。



さて、近年ロータリーにおいては研修の方法が変わりつつあります。現在では会員はまずマイ・ロータリーのラーニングセンターでそれぞれの役割に応じたコースを選択し、あらかじめwebを通じて研修を受け、それを踏まえてセッションという少人数の会合を持ち、そこでお互いの考えを述べ合うことによって理解を深めていくという形式が多くなりました。いわゆるRLI方式です。RLIとは、ロータリー・リーダーシップ研究会です。谷ガバナーエレクトが推奨されていますが、会長エレクト、もしくは幹事エレクトはRLIを受講していただいております。入会3年未満の会員も歓迎いたします。

国際ロータリー117年にして、初めての女性RI会長ジェニファー・ジョーンズさんが誕生しました。2024～25年度はステファニー・A・アーチック氏が選ばれ、史上二人目の女性RI会長となります。ロータリーが変わりました。



大阪北部2660地区のガバナー宮里 惟子ガバナーが、お忙しい中、ご講演に来て下さいました。2660地区は日本で2番目に創立され、今年創立100周年を迎えられました。記念地区大会に私も参加させて戴きましたが感動いたしました。

100年にして初めての女性ガバナー誕生です。私が一番尊敬している、ずっと憧れ続けている女性会員です。『会長が知っておくべきRIの変化とDEIについて』学ばせて戴きました。参加者の皆様好評で資料を求める声が多く、快くお引き受け下さいました。一人でも多くの方に聞いていただきたかったのですが、行事が重なり、PETSにお越し頂く事になりました。

このPETSの研修により、皆様の年度が豊かな実りの多いものになることを祈っております。



【地区活動報告】

2022学年度米山記念奨学生 修了式



地区米山記念奨学委員長 玉井 洋司

3月19日午後、和歌山市JAビル2Fに於いて、2022学年度2640地区米山記念奨学生15名の修了式を開催しました。



当日は森本ガバナー、米山記念奨学会当地区代表である樫畑理事の臨席を頂きました。修了式は修了生に対する修了書の交付、世話クラブカウンセラーに対し奨学期間中のご苦労に対し感謝状を森本ガバナーから贈呈いたしました。又、修了生には社会に出たとき必要になる名刺入れを委員会より送りました。



その後、修了生の時間として奨学期間中の思い出動画や修了生からの一言など2時間程度の短い時間でしたが、今後の生活への意気込みなど聞け、良いはなむけになったと思います。

尚、当日の参加者は次年度PETSと同日開催となりましたが、森本ガバナー、樫畑理事、米山委員13名、カウンセラー14名、奨学生20名の参加となりました。

ロータリアンの皆さんの寄付によって支えられている米山記念奨学金にご支援お願いいたします。



米山記念奨学生の皆さん！
修了おめでとうございます。
今後のご活躍をお祈りします。